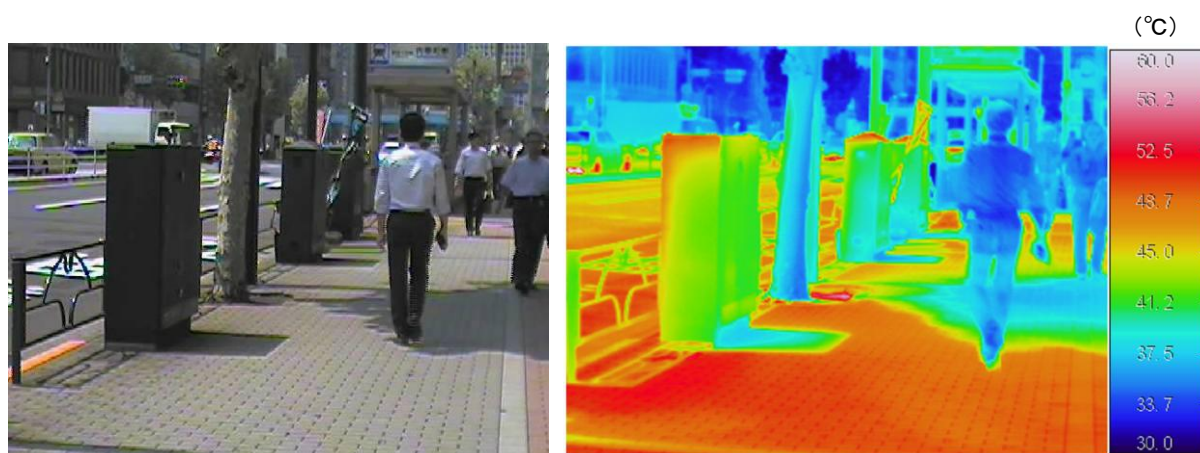


1. 4 街路の放射環境(表面温度)の測定

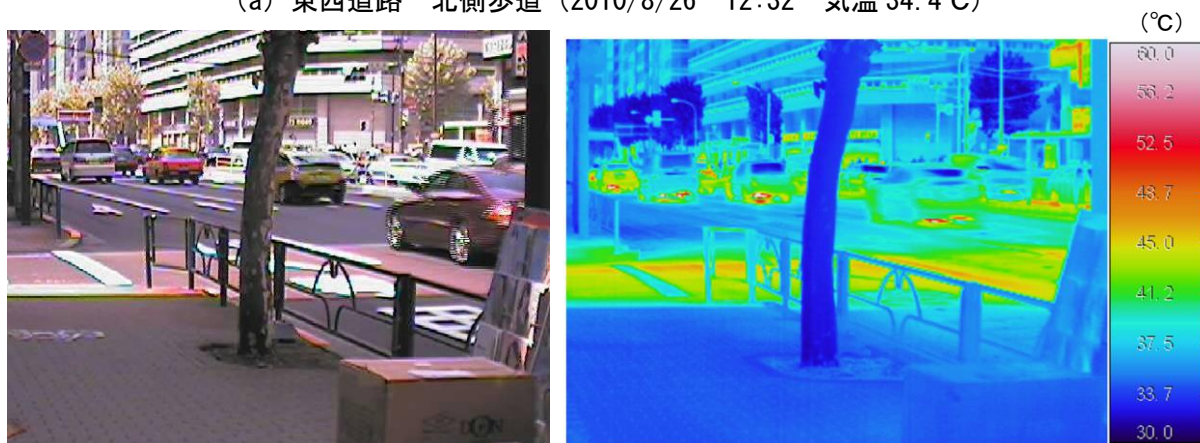
新橋及び国立において、街区内の表面温度をサーモカメラにより測定した。測定は夏季晴天日(新橋:2010年8月27日、国立:2010年8月28日)の日中及び夕方を実施した。結果の一覧は次ページ以降に示す。以下、結果の概略を記載する。調査結果の全体については、参考資料1-3に示した。

新橋(オフィス街)

オフィスビルの並ぶ新橋では、ビルが形成する日陰の有無による表面温度の違いが顕著に現れており、例えば東西方向の幹線道路において、日当たりのよい北側歩道では、日中の路面温度は約50℃にも達していたが、ビルの陰となる南側の歩道の表面温度は35℃程度であった。



(a) 東西道路 北側歩道 (2010/8/26 12:32 気温 34.4℃)



(b) 東西道路 南側歩道 (2010/8/26 12:26 気温 34.5℃)

図1-19 新橋における熱画像

国立(住宅街)

住宅街である国立では、例えば東西方向の道路で、建物による日陰が歩道に形成されているのは、歩道に隣接して住居が建っているような一部に限られ、それ以外の多くの路面温度は約 50°C に達していた。壁面に着目すると、ブロック塀部分の表面温度は 45~50°C、生垣(植物)の部分の表面温度は 35~40°C となっており、表面温度に 5~10°C の差が見られた。

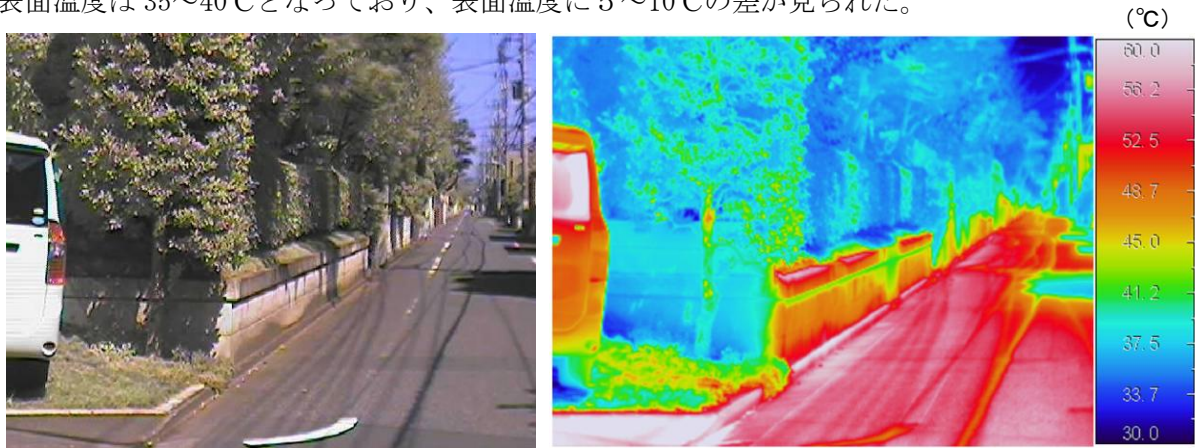


図 1—20 国立における熱画像 (東西道路 2010/8/28 13:24 気温 36.5°C)